

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2011-46803
(P2011-46803A)

(43) 公開日 平成23年3月10日(2011.3.10)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
C 1 0 L 1/02 (2006.01)	C 1 0 L 1/02	4 H 0 1 3
C 1 1 C 3/10 (2006.01)	C 1 1 C 3/10	4 H 0 5 9

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 19 頁)

(21) 出願番号	特願2009-195494 (P2009-195494)	(71) 出願人	599073917 財団法人かがわ産業支援財団 香川県高松市林町2 2 1 7 番地 1 5
(22) 出願日	平成21年8月26日 (2009. 8. 26)	(74) 代理人	100074332 弁理士 藤本 昇
		(74) 代理人	100114421 弁理士 葉丸 誠一
		(74) 代理人	100114432 弁理士 中谷 寛昭
		(74) 代理人	100134452 弁理士 小山 雄一
		(72) 発明者	アルマンド キタイン 香川県高松市林町2 2 1 7 番地 4 3 高温 高压流体技術研究所内
		F ターム (参考)	4H013 BA02 4H059 BA30 CA36 CA64 CA87 EA17

(54) 【発明の名称】 バイオディーゼル燃料の製造装置とバイオディーゼル燃料の製造方法

(57) 【要約】

【課題】 バイオマスを利用して製造されるバイオ燃料の一種であるバイオディーゼル燃料の製造装置と、バイオディーゼル燃料の製造方法に関し、所望量のバイオディーゼル燃料を得るために、ほぼ同量の容積の反応槽を必要とすることもなく、反応槽を小型化することができ、反応物とアルカリ触媒の効率的な分離を実現でき、また、反応のための処理効率を著しく向上させることができるバイオディーゼル燃料の製造方法と製造装置を提供することを課題とする

【解決手段】 油脂類とアルコール類とを固体アルカリ触媒の存在下でマイクロ波を照射して反応させるための反応槽と、該反応槽で生成する反応生成物と未反応のアルコール類を分離するための分離器とを具備し、前記油脂類とアルコール類との反応槽内での反応と、前記反応槽内で生成した反応生成物と未反応のアルコール類の分離器での分離とが連続的に行われるように構成されていることを特徴とする。

【選択図】 図2

